

にぎわいまち公社だより

第45号

一般財団法人 岐阜市にぎわいまち公社〈中心市街地整備推進機構・景観整備機構〉平成28年3月発行
岐阜市柳ヶ瀬通1-12(岐阜中日ビル2階)
TEL 058-266-1377 FAX 058-215-7155 ホームページ <http://www.gifu-nigiwai.org>

ぎふ景観まちづくりファンド



▲歴史的なまちなみに調和させる修景工事に助成を行う制度の利用者の声を紹介します。

加納まちづくり会



▲平成16年11月から活動している「加納まちづくり会」を紹介します。

親子・大人の社会見学プログラム「柳ヶ瀬商店街探検隊」



▲小学3年生に大好評の社会見学プログラムが、大人向けプログラムとして始動しました。

まちレンタ



レンタサイクルで
出かけよう
ぎふのまち



Let's Go to Town!

受付所〈7箇所〉※返却はどのポートでも可能です。

- 岐阜市長良川防災・健康ステーション
9:00~18:00(12~2月は17:00まで) 平成28年4月1日から
木曜休み(ただし祝日の場合は翌平日) 12/29~1/3休み
- JR岐阜駅南口
9:00~19:00(12~2月は18:00まで) 12/29~1/3休み
- 岐阜市役所本庁舎
9:00~17:00 市役所休日休み
- 岐阜公園総合案内所
9:00~18:00(12~2月は17:00まで) 12/29~1/3休み
- 鵜飼観覧船のりば
9:00~17:00 12/29~1/3休み
- 長良川うかいミュージアム
9:00~17:00(5/1~10/15は18:00まで)
10/16~4/30は火曜休み(ただし祝日の場合は翌平日)
12/29~1/3休み
- ぎふメディアコスモス
9:00~18:00(12~2月は17:00まで)
毎月最終火曜休み 12/29~1/3休み

利用料金

100円/1日1回

利用期間

2日まで(2日200円)

※自転車の利用は、ルールを守り、安全運転に心がけましょう。
※新成人の皆様へ：新成人無料券はその年の12月28日までの利用が可能です。



にぎわいまち公社では、
こんなことをしています。

- 市民の皆さんのまちづくり活動をお手伝いします。
 - ・まちづくり活動の支援及び相談に関すること
 - ・わがまち探検マップコンクール事業
 - ・ぎふまちづくりコーディネーター養成講座
 - ・ぎふ景観まちづくりファンド事業
 - ・まちなかライブラリーの設置
 - ・まちづくりの調査研究、情報提供など
 - ・まちづくりアドバイザーの派遣
- まちなか歩き推進のための事業を実施しています。
 - ・ウォーキングイベントの開催
 - ・ぎふいざナビを活用したイベント
- 中心市街地活性化に関する事業の推進をお手伝いします。
 - ・中心市街地建替え促進事業
 - ・まちの魅力PR事業
 - ・柳ヶ瀬プロデュース事業
 - ・柳ヶ瀬にぎわい創出事業
 - ・まちなかレンタサイクル管理業務
 - ・柳ヶ瀬あい愛ステーションの運営・管理
- その他岐阜市からの受託事業を実施します。
 - ・指定管理者として市営駐車場を管理
 - ・岐阜公園総合案内所を管理

◆お出かけの際は下記の駐車場をどうぞご利用ください。

岐阜市駅西駐車場、岐阜シティ・タワー43地下駐車場

じゅうろくプラザや岐阜シティ・タワー43、JR岐阜駅などをご利用の際は、近くて便利な岐阜市駅西駐車場、岐阜シティ・タワー43地下駐車場をご利用下さい。

●お問い合わせ：☎058-262-3301

●営業日：24時間営業、年中無休 ●利用料金：30分150円～

4時間を超え24時間まで1,200円。(お得な回数券もあります。)



駐車場を
活用してもっと
遊びにいきよう!



ぎふ景観まちづくりファンド助成制度のご案内

道三公・信長公が造った城下町の金華地区、1300年以上続く鵜飼の里である鵜飼屋地区など、現代に引き継がれてきたこれらの歴史的なまちなみは、岐阜市民の誇りであり、残すべき財産です。こうした景観が評価され、平成26年には「長良川中流域における岐阜の文化的景観」が国の重要文化的景観に認められ、また平成27年には「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜が日本遺産に認定されました。

にぎわいまち公社では平成20年にぎふ景観まちづくりファンドを創設し、金華地区・鵜飼屋地区の歴史的なまちなみに合わせて修景する工事などに対して、これまでに約80件の助成を行ってきました。

平成28年度もファンド助成を行いますので、金華・鵜飼屋地区で修景工事をご検討の方はぜひご相談ください。

対象工事例



① 歴史的建築物の維持復元を行う場合(200万円まで)
例:日本瓦の葺き替え、格子や木製引き戸の設置、
外壁を黒漆喰仕上げにする工事など
※構造補強(筋交いの新設等)を行う場合は追加で100万円まで。



② 歴史的工物(門・塀)の維持を行う場合(200万円まで)



③ 伝統的な素材(木材・漆喰など)を用いた門・塀を新設する場合(50万円まで)



④ 駐車場出入り口に木製格子などを新設する場合(50万円まで)



⑤ 建築設備への目隠しを新設する場合(5万円まで)

鵜飼屋地区の助成率が高くなる重点取組期間は平成28年度までです。

事前に申請が必要です。この機会にぜひご相談ください。

	平成28年度まで	平成29年度以降
対象工事費(一部を除く)の助成率	2/3	1/2
開口部格子・建築設備の目隠しの助成率	9/10	7/10



ファンド助成物件のご紹介



cafe & wine 池戸
オーナー 池戸 充男さん

家族と昔住んでいたこの町屋を、なんとか残したいと考え、店を始めることにした。

改修は自分が現場監督となり理想通りにできた。若い人にもっと町に関わってもらいたいと、着付けや英会話の教室にも使ってもらっている。地域に親しまれるお店をめざしたい。



味もボリュームも満点の看板メニュー「池戸バーガー」夜はアルコールも楽しめる。



奥の長い町家独特の店内。オーナーこだわりの調度品が並ぶ。



歴史的なまちなみが軒を連ねる川原町に築140年の町家を改修してcafe&wineのお店をオープン。



外壁を落ち着いた黒で仕上げ、玄関扉を木製に改修。内装工事の一部にファンドを活用し改修した。



奥の蔵も食事が可能。ギャラリーやイベントにも使われる。風格のある蔵戸が歴史を感じさせる。



施工主の安藤 洋一さん

大正3年の建築で傷みがあつたので改修することにした。最初は外壁をタタンのままにすることを考えたが、景観的配慮と耐久性を考えて木製にした。厚みのある板材を使ったので、前よりも家の中が暖かくなったような気がする。

鵜飼屋には様々な石積みがあり、その家の歴史が感じられる。



改修前



改修後



目の前に長良川が流れる絶好のロケーション。



木製の玄関に改修。木のあたたかみが感じられる。

外壁をこだわりの無節の杉板を使用して改修。室外機を隠してすっきりとした外観になった。



加納地区の景観

加納地区は加納城の城下町、中山道の宿場町という2つの大きな特徴を持っています。

加納城は徳川家康の長女・亀姫の婿である奥平信昌が初代城主となり、岐阜城から石垣や門を持ってきて築城されたといわれています。中山道沿道には現在も歴史的な建物が多く残り、落ち着いた景観を形成しています。



加納まちづくり会(平成17年5月10日認定)

平成17年度から、「和傘教室」「加納まちあるき」など加納地区の歴史・文化を発掘し、地域内外に発信する活動をしています。

活動の紹介

◆和傘教室

和傘振興会の協力を得て、和傘作り教室を行っています。

京都から参加があるほど大人気です。



◆加納まちあるき

加納城や中山道など地区の魅力を紹介するまちあるきを行っています。

今年度は「つなぐ人カレッジ」と連携して、地域の魅力を探して歩きました。



◆加納の発信

加納の歴史を紹介する「加納草子」を設置するほか、会報誌「加納の風」を不定期に発行しています。

公募で決められた「加納かめ姫」のキャラクターが会報を盛り上げます。



◆旧加納町役場のさよならイベント



大正15年に建てられた旧加納町役場が、長い勤めを終えて壊されることが決まり、地域の皆さんの参加のもと、さよならイベントを行いました。

旧役場を懐中電灯など皆さんの手で照らし、お別れの歌を歌いました。



親子・大人の社会見学プログラム「柳ヶ瀬商店街探検隊」

「柳ヶ瀬商店街探検隊」は、お店のこだわりや得意技(専門知識)、対面販売の楽しさを、商店主が市民の皆さんに伝え、まちやお店のファンになってもらうためのプログラムです。

これまでの小学3年生向けの実績をもとに、今回初めて、主に保護者を対象に実施しました。各個店が魅力あるコンテンツを企画・情報発信を行うことにより、柳ヶ瀬のエリアの魅力向上、柳ヶ瀬の賑わいや回遊の創出につながり、ひいては中心市街地のまちづくりの一助となることを期待します。



▲映画館の舞台裏を見学。



▲丸くない真珠でプチネックレスづくり。



▲沖縄の食文化と泡盛を体験。



▲和菓子のお話と最中づくり体験。